

「データ分析の理論と応用」 Call for Papers

<http://www.bunrui.jp/journal.html>

特集 ‘調査データ収集法の新展開’

「データ分析の理論と応用」第13巻第1号（2024年春発行予定）において、以下の特集を設けます。つきましては、会員の皆様およびこの分野にかかわっておられる研究者・実務家の方から広く募集します。

特集表題 「調査データ収集法の新展開」

ゲストエディター 鈴木督久 氏（日経リサーチ技術顧問）

特集の趣旨

社会全体のデジタル化が進展する現在において、古典的な実験や調査によってデータを収集してきた分野にはどのような変化が生じているだろうか。特に調査データの分野に焦点を当て、標本調査法との比較から利点や限界を実例とともに示し、標本から母集団を推定する統計科学のパラダイムを展望する。

投稿要領・執筆要領

本誌の通常の投稿要領および執筆要領にもとづくものとするが、原稿送付先は特集専用のメールアドレス bda-survey@bunrui.jp とする。本編集委員会の用意するLaTeXテンプレートまたは、MS Wordテンプレートに基づき、刷り上がり10ページ以内を原則とする。投稿要領・執筆要領は次の学会Webサイトに示してある。

投稿期限：2023年 10月 30日

発行：2024年春

投稿・問い合わせ先：bda-survey@bunrui.jp